

館山市立館野小学校

所在地 館山市山本 1028 電 話 0470-22-1061 FAX 0470-24-2173

1. 学校教育目標

「新しい時代を切り拓く子ども」の育成 ~かしこく やさしく たくましく~

「新しい時代を切り拓く子ども」の姿を、次のような姿ととらえる。

・夢・希望・目標をもつ。

- ・礼儀正しく、人を思いやる心、感謝する心をもつ。
- ・仲間や集団、地域や社会の発展に貢献しようとする。・自分を鍛えて高める意欲や態度、能力をもつ。
- ・様々な問題を対決していく、解決しようと努力する。・考えの異なる人とでも、歩み寄り協力していく。

―めざす子ども像―

<かしこく> 興味や学ぶ意欲をもつ。学習習慣が身に付いている。 よく考え、判断・表現し振り返る。 学んだことを生かせる。 <やさしく> 明るく元気に挨拶できる。感謝の気持ちをもつ。 自分や友達や、周りの人の良さがわかる。素直な心で生活できる。 <たくましく> 夢と目標をもつ。 粘り強くやり通す。 元気に運動し、健康な生活習慣。 自分の命を自分で守る。

時間対効果・優先度(「やるべきこと」「やった方が良いこと」「やらなくても良いこと」)を決めた職務遂行による働き方改革 互いの良さを認め、補い合い、伸びようとする教職員集団 ["役割・出番・居場所"が実感できる集団]

※職員に視点をあてた学校経営目標

2. 具体目標と手立て

→ 指導と評価の一体化、発問の精選と活動の確保 「かしこく」 学習意欲の向上

> 朝自習と家庭学習の充実、「読む・話す・書く」の徹底 学習習慣の定着

問題解決能力の育成 → 学習過程の工夫、体験学習の活用

生きて働く知識の育成 → 連続性のある授業づくり、学習を生活に生かす場の設定

明るい挨拶の習慣化 → 「やさしく」 教員の垂範率先、児童による挨拶運動

> 自己有用感の発揚 係・委員会活動の充実、個性を伸ばす指導

感謝の気持ちの育成 1日の振り返り、相手の立場に立って考える場の設定

人の意見に耳を傾ける場の設定、共感的人間関係の構築 素直な心の醸成と保持 →

「たくましく」 適切な目標の設定 実態把握に基づいた指導、個別の目標設定

> 粘り強い取り組み → 成功体験による意欲の向上、適切な支援 体力向上と健康促進 → 正課体育の充実、計画的な保健・食育指導

安全教育の充実 → 安全学習と安全指導の充実

3. 経営の重点及び努力点

- (1) 教育課程の充実と改善
 - 特色ある教育活動の推進 ・さとみ物語を活用した郷土愛の育成 ・さわやか班による縦割り活動
 - ・教育内容の充実を図る校外学習・体験活動の系統的な実施・放課後個別学習
 - 総合的な学習の時間の焦点化 ・福祉教育 (3年) ・防災教育 (4年) ・いちご栽培 (5年) 職場体験学習(6年)
 - 日課時程の工夫 ・一部ノーチャイムの活用、さわやかタイムの実施、全校読書
- (2) 確かな学力を身につけるきめ細かい指導
 - 2名の学力向上推進コーディネーター活用による授業改善
 - ICT機器活用による効果的な学習活動の推進
 - 実態把握と教材研究をもとに、育てる力と評価規準の明確化を図った授業構成
 - 授業時間内に、学んだことの確実な習得、活用する時間とまとめの時間の確保
 - 課題の明確化・主体的な自力解決や意見交換等により新たな考え方に気づく場・教材教具の工夫・問題意識が高まる授業構成
 - 読み書き・計算の習熟のための朝自習・放課後学習・家庭学習の活用
 - 学び方を育てる授業展開、宿題の工夫、家庭学習の習慣化
 - 学習意欲を持続させるための計画的な評価
- (3) 豊かな心を育てる指導
 - 道徳の指導方法の工夫を図り、「考え、議論する道徳」を意識した道徳の実践や評価の工夫改善
 - 道徳の時間と他の教育活動(教科・特活・総合的な学習、体験活動)とを関連させた指導の工夫
 - 授業公開による家庭・地域と連携した道徳教育の充実
 - 教師と子ども、子ども同士の心が通い合う学級づくり
 - 計画的な望ましい人間関係づくり
 - Hyper-QUテストの活用と教育相談の充実、心の悩みの早期発見と対応
 - 全学年で発達段階に即したキャリア教育の実施

- (4) 健やかな体を育てる指導

 - 運動に親しむ資質能力の育成 ・運動の楽しさが体得できる授業づくり ・正課体育での運動量の確保

 - ・体育的行事での目標設定と運営・外遊びの奨励や運動の日常化による体力向上
 - ○「食育」を中心とした健康教育
 - 危険予測能力の育成
- (5) 学校全体での特別支援教育の推進
 - 教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進のための研修
 - 合理的配慮の推進や基礎的環境整備
- (6) 地域とともに歩む学校づくり
 - 積極的な情報発信(学校・学年だより、ホームページ等)や授業公開を通して家庭・地域と連携した教育活動の推進
 - 学校支援ボランティアの積極的な活用による教材づくり
 - 学校関係者評価の活用や、学校評議員の力を生かした学校運営の活性化

4. 校内研究計画

- (1) 主たる研究
 - 「主体的に学び、自分の考えを表現できる子ども」の育成 <研究主題>
 - ~算数科における I C T機器の活用の工夫を通して~
 - <研究の方針>
 - ○授業力向上 ○学力向上 ○その他、児童に関する研修・若手教員研修
- (2) 学力向上
 - <目指す姿>
 - ○「わかる・できる」を実感し、楽しく学ぶ子ども
 - ○学習習慣としては ・鉛筆を正しく持って使う ・指名されたら「ハイ」と返事する ・自学できる(予習・復習)
 - ・良く聞き反応、切り替えができる ・よいノートを取る ・宿題をやってくる
 - ○学習意欲としては
- ・継続的に集中して学習する ・課題を最後までやり遂げる

- ○問題解決力としては・・既習事項を応用できる・・創意工夫し、柔軟に考える
- <取り組み>
 - ○朝学習の時間の活用(漢字、計算、読書、音読活動)
 - ○基礎・基本の定着のために放課後個別指導の時間の確保
 - ○月1回の学力向上研修(指導の見直し、共通理解、相互授業参観、一人一実践)
 - ○定期的な児童の実態把握 (パワーアップチャレンジ、家庭との連携による学習習慣作り)
 - ○学力学習状況調査の研修
 - ○館山中区学力向上への取り組み

5. 日課時程

8		9		10		11		1	2	13			1	4	1	5	
05	30	15	25	5 10	25	10	20	()5 4	5 20	38	5 4	0 2	25 3	5 2	20	35
	学級タイム	第一校時	休み時間	第二校時	業間	第三校時	休み時間	第四校時	給食	昼休み	清掃	準備	第五校時	休み時間	第六校時	帰りの会	下校

6. 学級編制·担任

7 13×14100011×211 1=	-			
	ڸ	1 童	数	担任
	男	女	計	担任
つくし1	5	1	6	臼井奈美子
つくし2	3	2	5	松本 綾
つくし3	5	2	7	杉本 真紀
1 年	17	7	2 4	唐鎌 久乃
2 年	4	10	1 4	根本 樹人
3 年	3	9	1 2	山中 博信
4 年	4	7	1 1	栗飯原実希
5 年	1 0	9	1 9	岩崎 由紀
6 年	1 4	18	3 2	小山 裕
合 計	6 5	6 5	130	

○校 長 吉井 典之

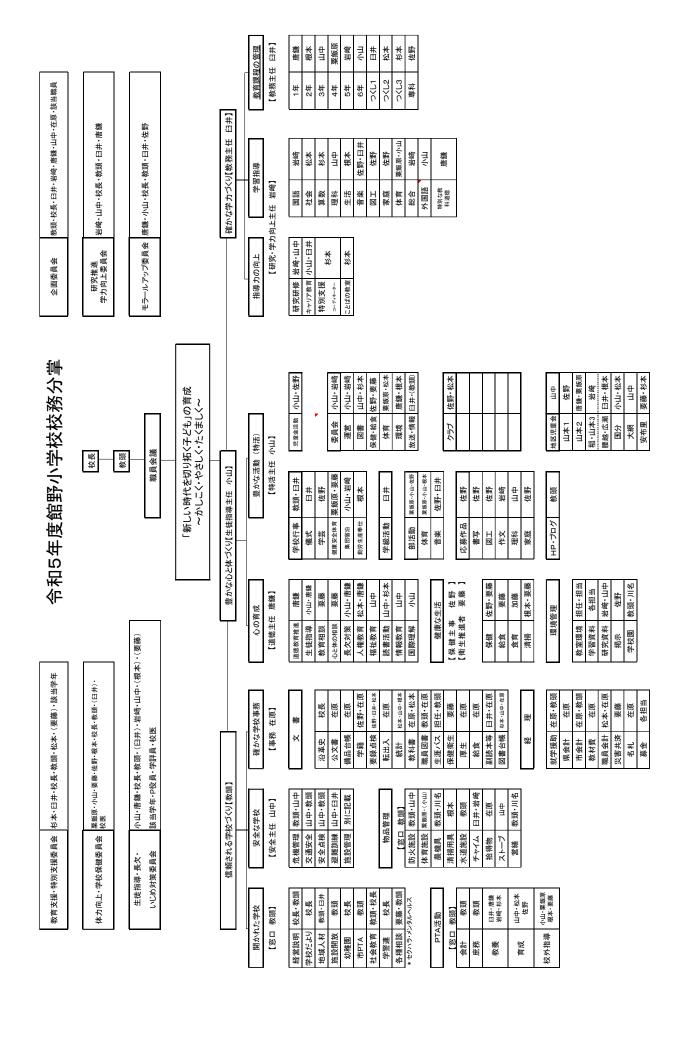
○教 頭 石井 俊道 ○教 務 臼井奈美子

○教 諭 佐野由美子 ○学習支援 田中 貴子

○学習支援 味岡 典子

○事務補助員 川名 康之

○養護教諭 要藤 美輝 ○事務主事 在原 圭亮



8. 沿 革 山本竜渕寺を校舎にあて、山本小学校を創立 尋常小学校の設立指定、21年5月 現校地に校舎新築する 明6.9 19. 4 24. 館野村立山本尋常高等小学校を館野村立館野尋常高等小学校と改名 昭5.4 学制改革に伴い館野村立館野小学校となる校舎増築3教室完成 南側校舎5教室改築なる 22. 5 26. 7 29. 4 講堂改築なる 39. 3 全教室に電源を配線する 校門前石垣造成 43.12 45. 10 館野小創立百周年記念式典を挙行する 48.12 ML教室完成 PTA奉仕作業により築山完成 新校舎建設のため南校舎解体、東・北両校舎に教室移動 新校舎建立事開始 新校舎竣工なる 49. 3 51. 7 53. 7 53. 8 54. 3 新校告竣工なる 普通教室(2教室増築、鉄筋コンクリート2階建)竣工なる 創立110周年記念大運動会を挙行する 校地・校庭拡張工事開始 校地・校庭拡張竣工なる 普通教室(2教室増築、軽量鉄骨造り2階建)竣工なる 特育放送公開研究会実施 体育的竣工なる 58. 2 58.10 59.10 60. 3 61. 3 教育放送公開研究会実施 体育館竣工なる プール竣工なる ジャンボ雲悌設置(山崎氏寄贈) 健康優良学校として県教育長より表彰さる 県教委より学校体育の研究指定を受ける 菜の花体操実践校として県知事より表彰を受ける 「学校体育」公開研究会開催 「県学校体育」研究大会公開研究会実施 文部省より「学校保健体育優良校」として表彰される 県教委より「小学校英語教室」の研究指定を受ける 安房市町村教育委員会連絡協議会より道徳教育の研究指定を受ける 館山市教育委員会より道徳教育の研究指定を受ける 県道徳教育研究指定「道徳」公開研究会開催 県小学校「英語教室」等研究協議会会場 61. 11 62. 3 63. 7 平元. 7 元.11 2. 4 2. 10 3.11 4.11 5.11 7.4 7.4 7.4 県道徳教育研究指定「道徳」公開研究会開催 県小学校「英語教室」等研究協議会会場 2学級増となりオープンルームを普通教室とする 障害児学級(知的障害)設置 つちのこ学級とする 5年生児童数増により、2学級になる 校庭周辺生垣ペラカンサ撤去 生垣にまきの苗木を植樹する いちごビニールハウス設立 情緒障害学級(つちのこ2)設置 県より「福祉教育推進校」の指定を受ける 創立130周年記念文集「びゃくしん」発行 福祉教育研究安房地方大会で実践研究を発表する プール本体部塗装 運動場西側校庭整備 8.11 10. 2 10. 4 11. 4 1学級増となりプレハブ棟を改修する 11.10 12. 10 13. 2 13. 9 14. 4 14. 4 15. 3 16. 2 17. 5 ブール本体部塗装 運動場西側校庭整備 文部科学省「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」拠点校の指定を受ける 特別支援学級(情緒)設置、つくし学級とする 特別支援学級(知的)設置、つくし学級2とする 「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」拠点校としての英語活動公開学習会を開催 英語活動公開学習会②を開催 17. 9 19. 4 19. 4 20. 4 20. 6 20.10 「千葉県学校体育優良校」を受賞する 県より「ちばっ子元気に」食と農の体験事業実施校の指定を受ける 地教連より「食育教育奨励賞」を受賞する 20.11 21. 4 21.12 校舎屋上防水工事 23. 8 屋上高架水槽交換校舎耐震改修工事 24. 8 26. 1 限まり「地域における食育指導推進事業」の指定を受ける地域における食育推進事業公開 体育館天井等非構造部材制震対策工事竣工 26. 5 27. 10 30.12 「NIE実践指定校」認定~2 令元. 7 2. 7 3. 3 いちごビニールハウス再建 体育館緞帳新調 地教連「学校課題研究推進指定校」指定 地教連指定「学校課題研究推進指定校」公開研究会 3.4 4.10



館山市立九重小学校

所在地 館山市安東3

電 話 0470 - 22 - 9803

FAX0470 - 22 - 9794

1 学校教育目標

あったかハートで、きらりと輝く個性を持ち、パワフルに生きる九重っ子の育成

<目指す姿> ・進んで学びぬく子 ・思いやりのある子 ・健康で元気な子

<卒業後も自分らしく生きる九重っ子の育成> ~足し算の教育の推進、 寄り添う教育の推進~

2 重点目標

- ・知育〈かしこく〉継続:毎日の授業や家庭学習を大切にする継続した学び
- ・徳育〈やさしく〉素直:自分や友達のよいところをたくさん見つける素直な心

教育の推進

体育〈たくましく〉挑戦:自分の目標達成に向けていつも挑戦する気持ち

【知育 (学力の向上)】

1. 学年に応じた学習規律、学習習慣の

- 学習用具の準備 • 時間遵守
- ・話の聞き方、発表の仕方
- ・家庭学習の充実、家庭との連携
- 読書活動の推進
- ・朝学習の継続(基礎・基本の充実)

2. 子どもが成就感をもつ授業

- ・自ら学び、思考し、表現する力を育 成する日常実践(授業+αでの継続 的な取組)
- ・「個」と「集団」が相乗的に高めあう 学習展開

(話し合い活動、ノート活用)

- ・個に応じた指導の展開
- ユニバーサルデザインを活かした授 業展開
- ・さとみ学習の充実

3. タブレット等、ICT機器の有効活用

使用場面の共有

(これまでの財産の活用)

活用場面の工夫

(基礎・基本の定着、学力向上、 支援が必要な子への活用等)

4. 特別支援教育コーディネーターを核 とした(特別)支援教育の充実

- ・ 通常学級、特別支援学級の連携を重
- ・特別支援学級の学びの確保(自立活
- 特別支援教育支援員による授業観察 と協議

5. 外国語教育の充実

- ・ALTとの連携による授業の充実
- ・日常的に使用する機会の創出

【徳育(社会性の育成)】 1. 自他の心や命を大切にできる

・道徳教育推進教師を核とした道 徳教育の充実

- ・学級・学校間交流活動の推進
- キャリア教育の推進
- 福祉教育の推進
- ・環境教育の推進

2. 生徒指導の充実 (「全職員が学 級担任」)

- ・いじめ対策基本方針の遵守
- ・生徒指導の機能を生かした授業 づくりの推進
- ・生徒指導会議等の充実と活用
- ・各種会議、ブロック会議、日常 の情報交換

状況把握→情報共有→対応

- ・教育相談の充実
- (H-QUの有効活用、SCの活用)
- ・家庭との連携

(良い行いを含めた電話、連絡 帳等による丁寧なやりとり)

3. 子どもの主体的活動の推進

- ・自主的・実践的態度の育成 (特別活動、委員会活動等)
- ・異年齢集団による班活動(すず かけ班)の充実 (すずかけレク等の計画的継続 的な実施)
- ・家庭、地域との連携 (たより等による積極的な広報 活動)

【体育(体力の向上・安全指導)】

- 1. 教科体育の充実 運動量の確保
 - ・スポーツテストの結果活用 (課題に応じた運動の継続)
 - 目標の明確化
 - スポーツテストの記録更新

2. 外遊びの奨励

- ・リフレッシュタイム、昼休 みの有効活用
- ・外でみんなで遊ぶ意識付け (強制にならない) (ルールやマナーの体感的な

習得)

3. 各種大会への積極的な取組

- 春季運動会(5月)
- ·館山市体操教室(6月)
- · 館山市陸上競技大会

(10月)

・校内マラソン大会

(11月)

校内縄跳び集会(1月)

4. 健康・安全教育の推進

- ・食育と保健指導の充実
- ・歯と口の健康教育
- ・朝食の大切さを学ぶ
- ・早寝、早起き、朝ごはんの 習慣を育成
 - アレルギーに対する意識の 高揚と対処の仕方の習得
 - ・自分の命は自分で守る意識 の醸成
 - ・状況に合わせた的確な感染 症対策



【安心・安全な学校づくり】

<児童の健やかな成長>

<災害時等を含めた安全確保>

<開かれた学校づくりの推進>



【教職員の資質向上】	【保護者との信頼関係】	【地域との連携】
1.計画的・組織的な研修 (2年目研修への組織的対応) (ブロック組織の活用) 2.学力向上推進コーディネー ターの活用 3.人事評価制度の活用 4.教育目標達成への具体的 取組 5.「不祥事0」の職員集団づ くり	 授業参観・家庭訪問・学期 末 PTA・行事等を積極的 に実施 情報発信に努める 学校評価の活用 集金業務等の適正な運用 	 情報発信に努める (学校だより、ブログ、新聞等) 授業・行事等の公開 (運動会等) 学校評議員制度の活用 地域人材・自然・文化の活用 (教科、行事等) 地域行事への積極参加

3 研究計画

(1) 主たる研究

<研究主題> どの子にも「わかる」「できる」が実感できる授業づくり

~ユニバーサルデザインの視点を生かして~

<研究目標> 「どの子にも『わかる』『できる』が実感できる授業」を実現するために有

効な手立てを、ユニバーサルデザインの視点を生かした取り組みを通して

明らかにする。

<研究内容> ・(特別) 支援教育についての理論研修(要請訪問)

・子どもが安心して学ぶことができる学習環境・学級づくり

・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業実践(一人一実践)

- (2) 学力向上に向けて
 - ①基礎基本の定着に向けた朝学習
 - ア 朝学習 月・・・読書 水・・・漢字 金・・・計算
 - イ 計算チャレンジ
 - ウ 漢字・言葉のきまりチャレンジ
 - エ ちばっこチャレンジの活用
 - ②授業を支える日常の取り組みの工夫
 - ア 読書の奨励・・・ブックリストの活用
 - イ 書く活動・・・「自分の言葉で書く」ことの積み重ね・習慣づけ
 - ウ 声を出す活動・・・音読・群読
 - エ 九重チェックシートの活用
 - ③学習のきまり
 - ④家庭学習・・・手引きの活用、3年生後半から自学スタート
 - ⑤学期末復習テスト期間・・・自分で計画を立て学習する力(2週間)、4年生以上

4 日課時程(基本型)

-												
	8:00	8:10	8:25	10:00	10:25	12:00	12:35	13:15	13:35	14:25	15:10	16:20
	朝の会	朝学習	第一 校時	リフレッシュ	第三· 四校時	給食	昼休み	清掃	第五校時	第六校時	帰りの会	完全下校

令和5年度 館山市立九重小学校 校務分掌一覧 教務事務(松本) -モラールアップ委員会 教科経営(松本) -校長・◎教頭・教務・庄司・坂井 教務部 研究推進委員会 校長・勅頭・教務・◎義道・山田・庄司 - 道徳教育(庄司) 学校保健・体力向上推進委員会 キャリア・福祉教育(松本)環境教育(佐久間)情報教育(細川)グローバル化に対応した教育(坂井・小倉) 校長・教頭・教務・◎坂井・細川・石井 -総合的学習(松本) 一外国語活動(◎坂井・小倉) 生徒指導・長欠対策委員会校内いじめ対策防止委員会 - 学校人権教育(佐久間) 校長・教頭・教務 ⑤山田・〇細川・庄司・石井 特別支援教育(◎山田・佐久間・大金) 図書館教育(庄司) 清掃指導 (佐久間・石井) 教育支援委員会 学級活動(庄司) -校長・教頭・教務・◎山田・石井・特担 児童委員会(松本・義道・坂井) 放送委員会(大金・山田) 図書委員会(小倉・庄司) 体育委員会(坂井・細川) 健康委員会(佐久間・石井) 校長・教頭・◎教務・義道・山田・栗原 機式的行事(松本) 文化的行事(教科等で対応) 健康安全・体育的行事(石井・坂井) 遠足・集団宿泊的行事(坂井・松本・義道) 勤労生産・奉仕的行事(佐久間・山田) 学校行事(松本) 教頭 員 (鈴木 土橋 슾 1年(⑥庄司)・2年(細川)・3年(義道) 4年(小倉)・5年(⑥松本)・6年(坂井) ひまわり1組(◎佐久間)・2組(大金)・3組(山田) ※上記®はブロックリーダー - 学年経営(松本) 美枝子 純也 議 教育相談(山田・庄司)長欠対策(細川)登校班(庄司) 生徒指導 (◎山田·庄司) 校内学力向上推進委員会 - 研究・研修 (◎義道・山田) 校長・教頭・教務・◎義道 山田・庄司・坂井・(吉田) − 生涯学習・社会教育・社会体育(⑥鈴木・義首) L-保健室経営 (石井) 特別支援教育校内委員会 校長・教頭・教務・◎山田・佐久間・大金・石井 (必要に応じて交流学級担任) 学校安全(鈴木) 防災管理(鈴木) 安全点検(大金) 学校教育相談窓口(鈴木・山田・庄司・石井) セクハラ等相談(鈴木・石井) 一 営繕(鈴木・杉本) 学校安全委員会 校長・教頭・教務・大金 - 学校給食(石井) ----- 配膳室(石井・杉本) |----| 飼育小屋(松本) | 学級園・花壇(庄司・細川・杉本) 学校環境(鈴木) — 受水槽・滅菌器 (石井)
- ブール (坂井・細川)
- 更衣室 (坂井水石井)
- 体育倉庫 (坂井・細川)
- 外トイレ (石井)
- 階段下倉庫 (鈴木・杉本)
- 児童トイレレ (石井)
- 玄関・昇座口 (栗原・杉本)
- 広関・消防用設備 (鈴木) | 体育館(坂井・細川) | 体育館トイレ (石井) | 保健室(石井) | 成送更衣宝男(山田) | 職員更衣室男(小倉) | 数材室(小倉) | 東倉庫(坂井・杉本) - 図書室 (注司)
- 図工・家庭科室 (松本・佐久間)
- 理科室 (山田)
- 音楽室 (義道・坂井)
- 事務室 (業所)
- 職員室 (第六)
- 校長室 (土橋) 施設(鈴木) - 備 品 (栗原) 個人情報保護(鈴木) 遭失物拾得(栗原)
一管理備品(栗原)
一管理備品(栗原・松本)
教科桐品(栗原・松本)
教科桐品(栗原・佐久間)
一視聴覚・情報機器(細川・坂井)
一規所用具(佐大・松本)
一清掃用具(佐久間)
- 児童用札特子(義道)
- 作業耕作用具(鈴木・杉本) 一 就学援助費(栗原)医療券(石井)一 特別支援教育就学奨励費(栗原・佐久間)一 日本スポーツ振興センター(石井) 事務室経営(栗原)。 諸帳簿 (栗原) 学校日誌(鈴木)
保健日誌(石井)
学校治食検食館(土橋)
給食当衛生観察票(石井)
治革誌(土橋)
職員会議解(義道)
服務整理簿(鈴木・栗原)
研修承認簿(鈴木・栗原)
出勤簿(鈴木・栗原) - 公文書(栗原) -文書収発 (栗原) 学校納入金 (栗原) 経理 (栗原) - 各種募金 (松本) - 郵 券 (栗原) - 県・市会計 (栗原) - 給食会計 (栗原・石井) 学校管理医 (鈴木 丹・鈴木医院) 学校歯科医(森 良勝・森歯科) 学校薬剤師(小山 博司・オリーブ薬局) 福利厚生(栗原)-親睦会(佐久間・各学期幹事) 福利厚生事務・職員会計(栗原) PTA(鈴木) 会計(松平) 会計(松平) 学校評議員会(鈴木) 庶務(鈴木) 地区諸団体(鈴木) 地区諸団体(鈴木) 地区諸団体(鈴木) 加山市警察署管内学校警察連絡協議会(山田) 渉 外 -(鈴木) 広報部(坂井・佐久間・栗原) 厚生部(庄司・松本・石井・小倉・山田) 文化部(義道・細川・大金) - 会計(松本) 代議員(坂井) 専門部 -一 庶務 (鈴木) 顧問 (半澤前 P会長)

6 学級編制・担任等

(1)児童数

項目 学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	ひまわり1	ひまわり2	ひまわり3	合計
学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
男子	6	6	3	3	3	5	5	5	4	4 0
女子	4	4	5	4	3	7	2	2	0	3 1
合計	1 0	1 0	8	7	6	1 2	7	7	4	7 1

(2)職員構成

職	名	氏 名	主な校務分掌	職名	氏 名	主な校務分掌
校	長	土橋 純也	経営全般	教 諭	佐久間 京	ひまわり1組担任
教	頭	鈴木美枝子	企画・調整・渉外・特別支	講師	大金 美穂	ひまわり2組担任
狄	央	如小天仅「	援教育コーディネーター	(教諭)	(馬賀菜穂子)	(育児休業)
教	諭	松本 謙吾	5年担任・教務主任			ひまわり3組担任
教	諭	庄司ます美	1年担任	教 諭	山田 淳	生徒指導主任 · 特別支援
秋	印刊	圧叩より天	道徳教育推進教師			教育コーディネーター
教	諭	 細川 真波	2年担任・長欠対策主任	養護教諭	石井 佳奈	保健衛生・給食主任
47	ניום	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	ICT教育主任	民吸水酮	1471 庄水	水便用工 和 <u>女工</u> 工
教	諭	義道由加里	3年担任・研究主任	副主査	栗原亜弥子	庶務・経理
講	師	小倉 純子	4年担任	支援員	鈴木 直美	特別支援教育学習支援員
(教	(論)	(川名 天理)	(育児休業)	事務補	杉本 啓	学校用務・給食
教	諭	坂井 啓佑	6年担任・体育主任	助員	10年 6	于似用伤·和艮

7 沿革

/ /ロ-	#			
明治 6	3.12	二子小学校開校	3.12	体育館天井塗装工事完了
7	7. 4	竹原小学校・水玉小学校開校	5.10	運動場大規模改修
7	7. 8	安東小学校・江田小学校開校	8.10	パソコン設置(8台)
8	3. 4	二子小学校・安東小学校を合併し、二子小学校と改称	11. 4	千葉県福祉教育推進校に指定(~13年)
11	1.6	竹原小学校・水玉小学校を合併し、竹原小学校と改称	14. 2	千葉県福祉教育研究安房地方大会にて実践発表
18	3. 4	江田小学校を竹原小学に合併	14. 3	屋内用(体育館)鉄棒設置
24	4 .4	二子小学校・竹原小学校を合併し、九重小学校と改称	14. 4	特別支援学級(知的)開設
30	0.12	安東3番地(現在地)に校舎を新築移転	14. 7	職員室空調機設置
31	1. 5	高等科を併置し、九重尋常小学校と改称	16. 5	プール全面塗装, プールサイド一部改修
大正 12	. 9	関東大震災により、校舎全壊	18.6	校章取付け
13	3. 7	校舎新築竣工	18. 7	玄関前インターホンの設置
昭和 16	. 4	国民学校令により、九重村立九重国民学校と改称	19. 2	ネットデイ開催による校内 LAN ケーブルの敷設
22	2. 4	新学制により、九重村立九重小学校と改称	20. 4	キャリア教育推進研究指定校に指定(県教委)
29	9. 5	館山市に合併し、館山市立九重小学校と改称	21. 4	特別支援学級(自閉・情緒)開設
35	5. 7	新校舎竣工(7教室)	21. 9	体育館屋根全面改修
40). 3	保健室・宿直室竣工	22. 4	食育活動支援事業に係る研究指定校に指定(県教委)
44	4. 8	プール竣工(25m 6 コース)	24. 4	安房地方教育委員会連絡協議会より研究指定校に指定
48	3.10	理科準備室増設	25. 3	九重幼稚園閉園式
52	2. 1	校地拡張(2,194.5 ㎡)総校地(11,271.5 ㎡)	25.11	安房地区教育委員会連絡協議会指定
54	4. 3	鉄骨屋内運動場竣工		公開研究会(算数科)
56	3. 2	鉄筋2階建普通教室棟竣工	26.2	プールの水,完全水道化工事完了
58	3.11	給水施設設備	27.4	九重学童クラブ設立
60	0. 3	アスレチック完成	28.2	校舎・体育館耐震補強工事完了
61	1. 3	鉄筋2階建特別教室棟竣工(4教室)	28.6	プール底盤平滑工事完了
62	2. 8	体育倉庫完成	令和 元.5	普通教室、音楽室エアコン設置
平成 元	1.10	子ども銀行大蔵大臣・日銀総裁表彰	3.4	一人一台タブレット導入

4.4 図書室改修工事完了(普通教室へ)

2.10 九重小学校創立百周年記念事業実施

3.6 プール用自家水道設備整備



館山市立第一中学校

所在地 館山市那古954番地電 話 0470-27-2021FAX 0470-27-2022

1. 学校教育目標

「心豊かで活力ある生徒の育成」

- (1) 自他を敬い 礼儀正しく 心豊かな生徒
- (2) 自ら学び 自ら考える 意欲ある生徒
- (3)健康で明るく 心身を鍛える 活力ある生徒

2. 経営の方針

- (1)生徒が主役の学校づくり
 - ○生徒が夢を育み、学ぶ楽しさを実感できる学校⇒子供の特性を把握し、「3つのあい」(伝えあい・認めあい・磨きあい)で生徒の活気を醸成する。
- (2)信頼される教職員による学校づくり
 - ○全職員が積極的に経営参加する学校⇒自覚と誇り・やりがいを持ち、それぞれの「よさ」を発揮し、信頼を得る。
- (3)家庭・地域と共に歩む学校づくり
 - ○家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たし、一体となって教育にあたる学校⇒ 地域・家庭・学校が連携する意識を持ち、強固な信頼関係を構築する。

3. 経営の重点及び具体的な取組

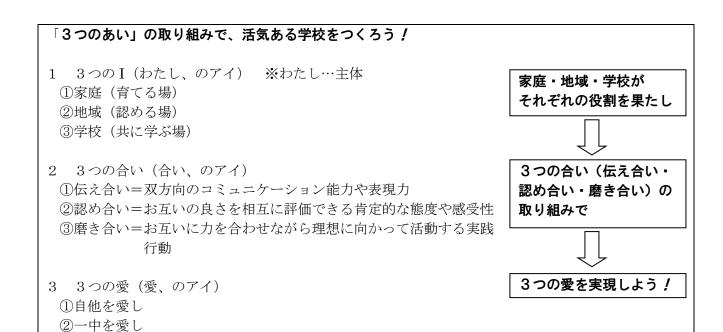
- (1)安心・安全な学校
 - ○命と尊厳を守る指導・支援と物的・人的環境整備
 - ○「認めあい」 社会性の育成を図る道徳教育の充実
- (2)学力向上の推進
 - ○基礎的・基本的な知識・技能の習得→課題の工夫,家庭学習の習慣化「全国学力・学習状況調査(国数英)→県平均」
 - ○朝ドリル→基本的な学力の定着, 学習習慣の定着
 - ○学習規律の確立→「授業の約束」の徹底
 - ○個に応じた授業実践→学力向上推進コーディネーターを活用し、わかりやすく、 魅力ある授業の工夫。 I C T 機器を有効活用し、学習に対する意欲化を図る。
 - ○言語活動の充実→

「伝えあい」 主体的で対話的なコミュニケーション能力の育成と読書活動(朝読書)の推進

- (3) 積極的な生徒指導の推進
 - ○発達段階に応じた学年・学級経営の充実(H-QUテストの活用、個が生きる集団づくり)
 - ○生徒の主体的な活動を引き出す場の設定と工夫
 - ○インクルーシブ教育の視点に立った配慮と支援の実践
 - ○教育相談体制の整備(迅速で的確な対応)→長欠対策
- (4) 特別活動・部活動の自主的活動の推進
 - ○目的に適した行事の計画・評価・改善
 - ○「3つのあい」に基づく,生徒主体の教育活動の推進 (地域社会等に貢献する意欲や態度の育成)
 - ○部活動を通した人間力の向上

(「磨きあい」 責任感・連帯感の育成)

- (5) 進路指導の質的向上
 - ○進路指導体制の整備とガイダンス機能の整備(個に応じた生き方指導の充実と 人間力の育成)
- (6)家庭・地域との連携
 - ○家庭とのきめ細かな連絡と情報交換(共有)
 - ○学校・学年・学級だよりの発行と生徒の活躍等の積極的な情報発信



4. 研究計画

(1)研究主題

豊かな心を育て、主体的に活動に取り組む生徒の育成 ~ 「目標」と「振り返り」を意識させて ~

- (2)研究・研修の目標
 - ①様々な活動(学級や学年の活動,学校全体の行事)について教師が目的を明確にし、その上で生徒自身に目標を持たせ、計画的に活動させることで、生徒の主体的に取り組む態度を育てる。
 - ②日々の授業の中で、教師が学習課題(目標)を明確にし、最後に振り返りの時間を設け、生徒が目標に対して自身の学習がどうだったか客観的に確認させることで、自ら学ぼうという態度を育てる。
- (3) 今年度の具体的な取り組み

③地域に愛される学校に!

- ①学ぶ意欲と学力の向上(相互授業参観、授業評価、家庭学習、朝ドリル)
- ②豊かな心を育む道徳の実践(相互授業参観,セルフチェックシート,「3つのあい」の自己評価)
- ③ I C T を活用した効果的な授業の方法(授業実践,校外研修の内容を共有)
- ④新学習指導要領を踏まえた指導と評価(各教科の評価の観点,評価方法の作成)
- ⑤授業規律の徹底(「授業前の約束」を教室掲示,授業評価の意識付け)
- ⑥H-QU分析(2)研究・研修の目標

5. 日課表

○木曜日は職員会議、研修日。○火曜日と木曜日は、清掃カットで帰りの会。

日 課	時 程	月	火	水	木	金
予 鈴	7:55					
朝読書	8:00~ 8:10					
学 活	8:10~ 8:25					
1	8:35~ 9:25	教務会		特別支援委員会	総務会	
2	9:35~10:25					
3	10:35~11:25		2年学年会		研推	
4	11:35~12:25	3年学年会				
給 食	12:30~12:55					
休 憩	12:55~13:20					
5	13:25~14:15		1年学年会			学活·総合
6	14:25~15:15		生徒指導委員会		清掃・学活	総合
清 掃	15:20~15:35				生徒会活動	
学 活	15:40~16:00				会議•研修	

6. 学級編制・担任等

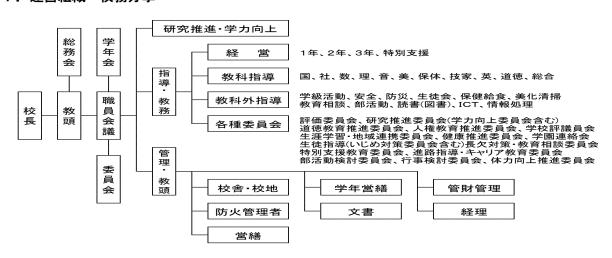
(1) 生徒数一覧

	14	丰	24	年	34	年	全	校
	男	女	男	女	男	女	男	女
1組	16	8	18	15	9	13	43	36
2組	17	8	18	13	11	13	46	34
さざなみ(知)		1		1	2	2	2	4
やまびこ(知)	2				2	2	4	2
さわやか(情)	1			1			1	1
あおぞら(肢)		1						1
	36	18	36	30	24	30	96	78
合計	5	4	6	6	5	4	17	74

(2)職員一覧

\ _ / 1905只	元						
	教務室		1年		2年		3年
校長	庄司憲弘	主任	真田光義 (保体)	主任兼さわやか担任	石田沙織(音楽・情)	主任兼1組担任	源間由紀 (国語)
教頭	渡邊泰彦	副主任	山田美喜 (国語)	副主任	宮﨑宏明(社会)	副主任	木曽美恵子 (英語)
教務主任	入野祐一 (英語)	1組担任	三平尚弥 (数学)	1組担任	三平和輝 (数学)	2組担任	金子侑生(社会)
養護教諭	網城雅代	2組担任	鎌田涼平 (理科)	2組担任	川名かおり(保体)	さざなみ担任	川田朝美(特支・知)
事務職員	水上千晶	あおぞら担任	庄司尚子 (特支・肢)	副担任	堀川瑞希 (理科)	やまびこ担任	朝倉祥太(特支・知)
育休 (美術)	鈴木歩						
育休 (事務)	渡辺春香						
教科講師	伊藤哲一 (美術)	教科講師	福原和章 (技術)	教科講師	佐貫香織 (家庭)	初任者指導	吉田徹
事務補助員	笛田新一	カウンセラー	牛山聡子	サクールサホ゜ートスタッフ	小礒英明	学力コーディネーター	池田俊郎
給食配膳員	滝口由美	学習支援員	深谷孝恵	学習支援員	川上順子	ICT支援員	石井千恵子

7. 運営組織・校務分掌



8. 沿 革 昭 2 4 . 4 . 1 昭和22年に開校された那古・船形両中学校を統合し、館山市立第一中学校 開設の許可を受ける 館山市立第一中学校開校式(那古中・船形中を統合) 4. 7 館山市正木1206番地に校舎竣工、授業開始 6. 1 初代校長 佐藤 直右 着任 25. 校歌制定(作詞 白鳥省吾 作曲 森義八郎) 3. 5 2代校長 田中 正 着任(船形小学校長から) 34. 4. 1 文部省指定産業教育研究発表会開催 11.25 38, 12, 15 日本職業指導協会研究指定校として公開研究会開催 40. 6. 29 県道徳教育研究指定校として公開研究会開催 3代校長 庄司 恒治 着任(西岬中学校長から) 41. 4. 1 12.10 県特殊教育公開研究会開催 4. 1 4代校長 遠藤 一郎 着任(市教委学校教育課長から) 49. 50. 3. 4 館山市那古954番地に新校舎建築着工 4. 1 5 代校長 庄司 厚 着任 (教育庁安房地方出張所管理課長から) 51. 4.27 新校舎竣工式開催 53. 4.16 体育館竣工式 10.25 文部省指定生徒指導全国公開研究会開催 54. 4.21 プール建設着工(7.6 竣工式) 55. 4. 1 6代校長 吉田 久雄 着任(朝夷教委学校教育課長から) 12.11 館山一中跡地記念碑建立(同窓会) 7 代校長 金房 保 着任 (館山市教委社教文化課長から) 4. 1 彫刻「くがい」藤森 民雄 作 設置 60. 7. 4 8代校長 大田和 正之 着任 (丸山町立丸山中学校長から) 62. 4. 1 9代校長 福原 仲次 着任 (鋸南町立第一中学校長から) 元. 4. 1 3. 5. 31 県教委指定学校安全公開研究会開催 10代校長 辻 實 着任(市教委学校教育課長から) 4. 4. 1 11代校長 川田 繁 着任(市教委学校教育課長から) 7. 4. 1 11.17 県教委・地教連・市教委指定生徒指導推進地域研究会開催 9. 4. 1 12代校長 田口 秀雅 着任(館山市立房南中学校長から) 13代校長 平野 明文 着任(県立大房少年自然の家所長から) 13. 4. 1 校舎大規模改修工事完了 14.10.10 14代校長 佐野 正之 着任(館山市立豊房小学校長から) 4. 1 20. 4. 1 15代校長 下妻 洋也 着任 (鋸南町教育委員会教育課主任指導主事から) 20.10.25 体育館耐震補強工事完了 22. 4. 1 16代校長 小峰 昇 着任(県立君津高等学校教頭から) 5.31 太陽光発電装置竣工 11.19 文部科学省指定「人権教育研究」実践発表会開催 23. 9. 7 武道館屋根改修工事終了 1. 7 地震、大津波想定避難訓練 【芝崎地区避難指定場所 健人館へ避難を試行】 25. 17代校長 平島 昭一 着任(県教育庁教育振興部体育課学校体育室長から) 25. 4. 1 28. 4. 1 「学力・学習状況」検証事業研究指定校(平成28~30年度) 18代校長 吉野 芳明 着任(館山市立館野小学校長から) 29. 4. 1 4. 19代校長 鈴木 賢一 着任 (千葉県教育委員会 (放送大学学園派遣) から) 3 1. 1 令 20代校長 小宮 雄三 着任(市教委教育総務課長から) 3. 4. 1 4. 11. 15 県教委指定 特色ある道徳教育推進校における研究事業 道徳公開研究会開催 5. 4. 1 21代校長 庄司 憲弘 着任(市教委教育総務課教育推進室長から)



館山市立館山中学校

所在地 館山市長須賀136 電 話 0470-22-0531 FAX 0470-22-0898

1 学校教育目標

「自立」と「共生」 〜社会の変化に対応し、逞しく生きる生徒の育成〜 修文練武

(1) 知育

【自己実現に向けた学力の向上】

- ① 教材研究の充実
- ② 指導方法の工夫・改善
- ③ 個に応じた指導の充実
- ④ ICT機器を活用し、次代を見据えた教育の推進
- ⑤ 「さとみ学習」等を中心とした郷土学習の推進

(2) 徳育

【共生できる社会性の育成】

- ① コミュニケーション能力の向上
- ② 社会生活に向けての規範意識の向上
- ③ 自主的・主体的な諸活動の実践
- ④ h-QUを活用した集団づくりの実践
- ⑤ 生徒会活動を中心とした自治的活動の推進

(3) 体育

【健康で豊かな生活を営むための体力の向上】

- ① 規則正しい生活習慣の育成
- ② 部活動の活性化による心身の向上
- ③ 自助・共助を目指した健康・安全教育の推進
- ④ 栄養教諭・栄養職員を核とした食育教育の推進
- ⑤ スポーツライフを見据えた運動経験の実践

2 目指す子ども像

- ・自ら考え主体的に行動する生徒
- ・他者を理解し共に支えあう生徒
- ・心身ともに健康な生徒

3 経営の方針

安心安全な学校づくり

- ・生徒の心身の健やかな成長
- ・安全確保を第一とした学校運営
- ・開かれた学校づくりの推進

(1) 保護者との信頼関係

- ・授業参観・行事への参加依頼
- ・各種たよりやブログによる情報発信
- ・学校評価の活用

PTA活動、懇談会の積極活用

(2) 教職員の資質向上

- ・常に組織で対応する職員集団
- ・状況に応じて、的確な指導ができる職員の育成
- ・職員のコンプライアンス意識の向上
- ・学習指導・生徒指導等の指導力向上を目指した研修の推進

(3)地域との連携

- ・情報発信に努める
- ・授業や行事の公開
- ・地域人材や自然・文化の活用
- ・地域の行事への積極的な参加

4 研究計画

(1) 研究主題

生徒自らが探究し、夢・目標が持てる、キャリア教育の実践 〜総合的な学習の時間における各学年のユニットの連携を通して〜

本校の最重要課題として、学力向上が挙げられる。その課題の取り組みとして、2年間、「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを活用した学力向上をテーマに研究を行った。実践モデルプログラムの活用を具体的に定め、日々の授業だけではなく、指導主事訪問や相互授業参観等でも授業改善に繋げることができた。職員にもアンケートを取った結果、一定の成果があったと多くの職員が回答した。

しかし、教職員の授業改善による取組のみでは、テストの点数の向上に、なかなか結びつかないことも課題として残った。そこで学力向上について異なる視点での取組も必要であると考えた。生徒の学習の必要感が高まれば、意欲的に学習に励み、学力向上につながると考えた。学習に対する必要感は生徒のもつ将来の夢、目標、キャリアに繋がるものである。本校ではキャリア教育を見直し、各学年で連携したキャリア教育を行うことができれば、勤労観だけではなく、学習の必要性を感じることができるであろうと考えた。

(2) 生徒の実態

生徒の様子

本校の生徒は全体的に明るく活発で、体育祭、合唱コンクールなどの学校行事、部活動に一生 懸命取り組むことができる。学校行事や部活動をふくめ、仲間と協力して活動できる生徒が多 い。学習面においてもグループ活動を行うと仲間と協力しながら、積極的に学習を進めることが できる。また、仲間どうしで教えあう姿も見られる。しかし、テスト等の結果を見ると、学力の 著しい2極化現象が見られる。学習を苦手とする生徒は、学習意欲が乏しく、学習内容が理解で きない。学習に一生懸命に取り組めない。この負のスパイラルが学力差につながっていると考え られる。また、学習を苦手とする生徒は、学習に対する気持ちが弱く、粘り強く取り組めない生 徒もいる。

テスト結果

全国学力学習状況調査やHyper Q-Uにおいて、生徒同士の人間関係、生徒と教師の人間関係に関する項目は高く、良い人間関係を構築できている。しかし、自己の進路に対する調査項目が低く、自己の将来についての考えをしっかりと持てていない傾向にある。総合的な学習の時間を中心に、自己の将来について考える機会を設定しているが、調査項目が低いので、今の学習を見直す必要があると考える。

1月下旬の学力テスト結果から、各学年の教科の成績と全国平均を比較すると、2年生、3年生はいくつかの教科で全国平均を上回っていた。学力テストの問題ごとの結果を分析すると、本校生徒は「知識」の面で正答率が高い。しかし、共通して「思考・判断・表現」の問題の正答率が低い。そのことから、「考えて、何かする」という思考を扱う問題への対応を各教科で取り組む必要があることが分かる。

本校の学力テストの平均点(R5.1月実施)

	学年	国語	数学	理科	社会	英語	合計
2	2学年	46.2	40.9	59.0	64.1	59.6	270.6
5	3学年	48.1	42.3	45. 2	45. 2	49.7	228.4

以上のことから、引き続き、授業の内容やテスト問題(高校入試・実力テスト等)を分析し、各教科で求められている「思考力・判断力・表現力等」に重点を置いた授業展開、問題への取り組み、学習評価等を工夫し、授業改善を行い、学力向上を目指す必要がある。授業づくりは、昨年度研究を行った『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を活用した授業づくりを継続し、各教科に適した授業改善を行えるようにする。学力向上については、昨年度の全国学力状況調査、定期テスト、実力テスト、授業での学習状況を各教科で分析し、各教科に適した学力向上に適した指導方法を実践する。また、「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」の活用におけるセルフチェックシート』を今年度も引き続き使い、授業を見直す機会を設ける。

(3)研究内容

- (1) 館山中キャリア教育の指導計画の確立
- (2) 総合的な学習の時間における、キャリア教育の実践
- (3) Q-U調査における進路項目の数値向上

5 日課表

	6 校時日課	5 校 時 日 課
生 徒 登 校	8:00	8:00
朝読書	8:00~8:10	8:00~ 8:10
朝学活	8:10~8:20	8:10~ 8:20
1 校 時	8:30~ 9:20	8:30~ 9:20
2 校 時	9 : 3 0 \sim 1 0 : 2 0	9 : 3 0 \sim 1 0 : 2 0
3 校 時	$1 \ 0 : 3 \ 0 \sim 1 \ 1 : 2 \ 0$	$1\ 0\ :\ 3\ 0\sim 1\ 1\ :\ 2\ 0$
4 校 時	$1\ 1\ :\ 3\ 0 \sim 1\ 2\ :\ 2\ 0$	$1\ 1\ :\ 3\ 0 \sim 1\ 2\ :\ 2\ 0$
給 食	$1\ 2\ :\ 2\ 0\sim 1\ 2\ :\ 5\ 0$	$1\ 2\ :\ 2\ 0 \sim 1\ 2\ :\ 5\ 0$
昼休み	$1\ 2\ :\ 5\ 0\sim 1\ 3\ :\ 1\ 5$	$1\ 2\ :\ 5\ 0\sim 1\ 3\ :\ 1\ 5$
5 校 時	$1\ 3\ :\ 2\ 0 \sim 1\ 4\ :\ 1\ 0$	$1\ 3\ :\ 2\ 0 \sim 1\ 4\ :\ 1\ 0$
6 校 時	$1\ 4\ :\ 2\ 0\sim 1\ 5\ :\ 1\ 0$	
清掃	$1\ 5:1\ 5\sim 1\ 5:3\ 0$	$14:15\sim14:30$
帰りの学活	$1\ 5\ :\ 3\ 5\sim 1\ 5\ :\ 5\ 0$	$14:35\sim14:50$
部 活 動	1 5 : 5 5 ~	1 4 : 5 5 ~
最終下校時刻	4月 (18:00) 5~7月(18:15) 9 11月~1月(17:00) 2月 (17:15、	

6 学級数 生徒数

	/	学級数
1	年	6
2	年	6
3	年	6
かがる	さき	5
オーロ	ュラ	2
合	計	25

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	男子	女子	合	計
1年	41	42	41	42	41	41	135	113	2	248
2年	41	41	41	41	41	41	130	116	2	246
3年	37	38	37	37	37	38	115	109	2	224
							380	338	7	18

7 職員一覧

/ 1305-C													
校 長	神子	純一	研究主任	原田	辰司	栄養	教諭	山口	裕子	事務補	甫助員	松下	茂
教 頭	山口	幸司	進路指導主事	佐野	景子	事務	職員	石井	恵子	スクールサポ	-}スタッフ	小山	治賢
教 頭	荒井	正宗	生徒支援主任	長谷川	牧実	事務	職員	渡邊	由衣	学習才	泛援員	田村	邦子
教務主任	伊丹	裕子	特別支援コーディネーター	和田	恵子	スクールカ	ウンセラー	鈴木	文子	学習 学習 学習 ラ	支援員	神作	小百合
生徒指導主事	吉田	慎吾	副生徒支援副コーディネーター	小澤	香織	事務補	制助員	山形	邦枝	学習	支援員	金木	佐千子
生徒指導副主事	鈴木	祐介	養護教諭	小瀧	清美	事務補	制員	岩崎	忠孝	: 学習:	支援員	豊﨑	きぬ子
			1学年				2 学年				3学	年	
主	任	高橋	敦 子	(美術)	白	井	隆太	(技	術)	佐 野	景	子 (英語)
副主	任	原田	辰 司	(数学)	川。	上	徹也	(英	語)	野 村	香	苗((数学)
1	組	松岡	豪 伸	(数学)	渡	& 多	見子	(国	語)	川名	虎	喜 ((理科)
2	組	忍见	2 惟	(国語)	小小	松	芳 輝	(数:	学)	中山	大	成((社会)
3	組	大河	为 啓佑	(英語)	Ш.	上	徹也	(英	語)	白 石	耕	平 ((数学)
4	組	田村	泰久	(社会)	山江	本 佳	奈子	(英	語)	野 村	香	苗((数学)
5	組	原田	辰 司	(数学)	寺	本	圭 佑	(保	体)	橋口		楓((国語)
6	組	小倉	優佳	(国語)	中。	Ш	翔矢	(社:	会)	鈴木	祐	介 ((理科)
かがや	き 1	和田	恵子										
かがや	き 2	梶	野々香	(音楽))								
かがや	き 3									太田	ひか	る	
かがや	き 4				川力	人保	優子						
かがや	き 5									外崎	彰	<u>信</u>	(国語)
才一口	ラ 1									小 澤	香	織	
オーロ	ラ 2				樋	П	一茂						
副担	任	木下	郁	(社会)	小	倉	貴	(理:	科)	長谷川	1 牧	実(家庭)
副担	任	塚起	雄健	(理科)	郡	司	唯以	(数:	学)	鈴木	翔	太((保体)
副担	任	吉田	孝 平	(保体)	佐	野	唯	(英	語)	安藤	あゆ	み(美術)
生徒支援	教室				大	島	夏 葉						

8 連言組織・校務分事						
		学校経営(校長·教頭)				
	職員会議	<u>Т</u> П	総務会・(校長・教頭・教務・生徒指導・学年主任・特支コーディネーケ・・事務)			
	教育課程の編成・管理	学年経営・学級運営	研究推進(校長·教頭·教務·研究主任	原田川上白石		
						Γ
生徒指導・教育相談部会	学力向上部会	体力向上部会	学校生活部会	地域連携部会	366	経理庶務部会
吉田、鈴木祐)	*	橋口、木下	教頭 教務	事務 市事務	3务
<道徳教育> 渡暑 烈足 渡邊 橋□	<学習指導>(教科指達)	<体力向上> 体百科 春護教諭 全職員	<特別活動> (学級会活動)	<キャリア教育・進路指導> 佐野 高橋 白井 佐野	<経理> 計費	教語 市事務
*************************************	記 認足	教育>	二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	材活動・	振興センター	養護教諭
吉田 松岡 中川 鈴木祐(教育相談)	⊕ Œ 三 Æ	(安全指導) 名	(生徒会活動) 梅口 田本 梅口	学校支援ボランティア> 教語 教務	通学費 給戶·旅費	市事務県事務
(子人曰'I HAX) 鈴木祐 相尾 佐野唯 鈴木祐		学·食指導)	i I	- 大元 子入5.7.7 	職員公計	, 上,
(長欠対策)	川名 鈴木祐 塚越	~	r部活動)	伊丹	生徒会費	生徒会担当 県事務
長谷川 村尾 ^{都司(由并)} 長谷川 (十二十十二年)	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(神) 	海景	<pta></pta>	教材費	
(生作之大场) 長谷川 権郡司(白井) 長谷川(大島)	自来 伊井 佛 羊術 高橋 安藤	表合// 少多人 化对射性 医合/// 加口格	大	秋頃 秋殇 高橋 白井 佐野	子午買·槓工击 PTA令書	子牛云訂 宗事務 教頭 市事務
1-7-44-9-	計	>部活動指導>	中 田里	· 二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	部活後援会費	教頭 県事務
和田恵小澤	#	;	松	教頭 教務 生徒指導		
一首>	総合 学年主任	Ī	歌声広報 木尾 川久保 野村・安藤		<庶務>	1
二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	(1) 	M 型 型 E	動・清掃活動>	教员 教務 生徒指導	大型	県事務 教頭
<特別文法教育> ************************************		2次次 3パ2ケットボール 吉田 幸木 川久保	イト イト 小松 小海ノ油・高市 いんこく	•	教科書当まり	果事務 梨務 市事務
小海衛口	、	H 프 플	Nada Ara Nada Arabut 安藤 高橋 Arabut 安藤	キャリア教育推進委員会	小都	教頭 県事務
•	•	⊞		高橋 白井 佐野	証明書	
		郡司			月末統計	
真(いじめ対策)推進多		禪				樋口 鈴木翔
E i		小 松 !			給食費	市事務
校長 教頭 教務 養護教諭		- 智村	施設の管理分掌は別に記載		教育扶助	市事務
	:力向上)推; 盾田	8女子ソフトテニス 山本 小曽0 0 6 球 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			少芬田舖品	市事務 教科中任
		ボール 松岡			部活用補品	各顧問
		三	学校保健委員会		情報教育備品	市事務
生徒支援委員会(長欠・教育相談含む)		12剣道 鈴木翔 吉田孝			作業清掃用具	市事務
林昆 ^{郡司(白井)}	白井 松岡 白井 白石	Ę				44.1
校長 教頭 教務 養教 SC		# 中 中 中	給食主仕 春護教諭		教務 計	吉田孝 /J/不公 中山·鈴木県
13 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		帽 =			<スクールバス>	አ ት
字校人権教育推進委員会主由 和田 婦口 ※****		15情報科字 和恵 (渡邉) 16件 注 佐野 海湯			教務字	字件王仕
		TE EL				
特別支援教育推進,就学指導委員会	4l4	1英語 2駅伝 3相撲				
和田惠 特別支援担任 校長教頭教務 生徒指導	生徒指導	4				
セクハラ相談窓口	新規採用研修・フォローアップ研修	体力向上推進委員会				
養教 教頭	教頭 教務	寺本 吉田 鈴木翔 吉田孝 教頭 小瀧				

9. 沿 革

 令03. 4. 1
 第二中学校と第三中学校を統合し、館山中学校開校 初代校長 吉田慎一郎 着任

 03. 4. 8
 開校式

 03. 4. 9
 第1回入学式(新入生226名)

 03. 11. 30
 校歌披露式

 04. 3. 11
 第1回卒業式(卒業生241名)

 04. 4. 6
 第2回入学式(新入生244名)

05. 3.10 第2回卒業式(卒業生249名)05. 4. 7 第3回入学式(新入生248名)